

令和3年度 事務事業評価シート

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる	部内優先順位
事業名	すみだ北斎美術館管理運営費		1
目的	平成28年11月に開館したすみだ北斎美術館の適切な管理運営に努め、PR事業を始め、資料収集、すみだと北斎のPR及び施設の充実を図る。		主管課・係（担当）
			文化芸術振興課文化芸術担当 03-5608-6115
対象者	区民及び本区への来街者、北斎に関心のある層		
根拠法令 関連計画	すみだ北斎美術館の管理運営に関する条例及び同施行規則		
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託 人員体制・委託先 常勤職員3・墨田区文化振興財団・丹青社共同企業体
事業内容	本区で生まれた世界的絵師・葛飾北斎を区民の誇りとして顕彰する「すみだ北斎美術館」の管理運営を行い、区民が文化・芸術にふれる機会を創出するとともに、文化・産業・観光等の地域活性化の拠点として展開する。		
経過	開始年度	平成28年度	終了予定
	未定		
議会質問 の状況	<p>■平成30年11月 第4回定例会</p> <p>Q 来館者数、観覧料収入が開館当初と比べ減ってきている。平成29年度には月平均2万人だった来場者が、平成30年には1万5,000人を割り込む結果となっている。10年先、20年先にはどうなってしまうのか。このままでは区財政の重荷になるおそれが予想されるが、どのような対策が必要と考えているのか。</p> <p>A 平成28年11月の開館から2年が経過し、これまでに56万人以上の方にご来館いただいている。一般的に美術館の来場者は開館初年度をピークとして年度を経るごとに減少しますが、一定のところ安定する傾向にあり、すみだ北斎美術館についても同様の傾向にあると考えている。今後については、他館からの重要作品の借り入れ、魅力的な企画展の実施、常設展示の工夫などにより来場者の確保に努めるとともに、支出の削減を図り、効率的な館の運営を指定管理者に求めていく。</p>		
	<p>（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、企画展会期は都度変更になる可能性がある。</p>		
その他 特記事項			

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額（事業費）		99,249	142,227	200,079	190,640	247,563	177,950
A.決算額（令和3年度は見込み）		87,439	137,512	195,805	185,279	219,119	177,950
財源	国						
	都						
	その他	18	32,684	99,928	89,285	95,437	77,221
一般財源		87,421	104,828	95,877	95,994	123,682	100,729
執行率（%）		88.1%	96.7%	97.9%	97.2%	88.5%	100.0%
B.人コスト				4,922	4,369	4,411	
総事業決算額（A+B）		87,439	137,512	200,727	189,648	223,530	
主な事業費用の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・すみだ北斎美術館指定管理料 ・空冷チャラーに係る調査設計委託 					
予算書P（令和3年度）	P121 6-1	執行実績報告書P（令和2年度）			P55		

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	メディアへの掲載数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		60	R7	目標	60	60	60	60
				実績	73	102	78	93
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	60	60	60	60	60	60	
	実績	107						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	北斎美術館のメディアへの掲載数で、宣伝・広報の成果を図る指標となるため。目標値については、来館者数が安定していく中でも、高い注目度を集めるべく本数値に設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	すみだ北斎美術館への来館者数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
95,000		R7	目標	80,000	321,000	220,450	171,000	
			実績	177,707	262,634	177,188	157,034	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	172,000	180,000	95,000	95,000	95,000	95,000		
実績	45,070							
指標の選定理由及び目標値の理由								
区民をはじめ、区外及び海外からの来訪者が、どれだけ北斎の魅力を体感したかを図る指標となるため。目標値については、開館当初に想定していた、開館3年目以降の来館者数を設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	来館者数は、コロナ禍の影響で令和2年度は目標を大きく下回ったものの、開館以降、高水準での来館者数を達成している。コロナ禍においても、メディアでの掲載数は目標を大きく上回っており、引き続き高い注目を集めている。コロナ収束後に来館者数を戻せるよう引き続き適切な管理運営に努めていく必要がある。

課題・問題点
管理運営業務は要求水準どおりに適切に実施されているが、要求水準に掲げる公開承認施設の認定に向けた活動を着実に実施する必要がある。 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対策を徹底しつつ、入館者数を確保していくため、広報や企画展の充実を求めるとともに、支出を抑え、安定した館の運営を行っていく必要がある。

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる			部内優先順位
事業名	すみだ北斎美術館寄付キャンペーン経費				2
目的	平成28年11月に開館したすみだ北斎美術館の適切な管理運営に努め、PR事業を始め、資料収集、寄付キャンペーンを実施し、すみだと北斎のPR及び施設の充実を図る。				主管課・係(担当)
					文化芸術振興課文化芸術担当 03-5608-6115
対象者	北斎及びすみだ北斎美術館へ関心がある層、本区へのふるさと納税による寄付を検討している方				
根拠法令 関連計画	墨田区北斎基金条例、墨田区北斎基金寄付金取扱要綱、墨田区文化観光基金寄付金取扱要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤職員3・株式会社トラストバンク外
事業内容	すみだ北斎美術館の管理運営費、資料収集、北斎をテーマとしたアートプロジェクト経費等へ充てることを目的に寄付キャンペーンを実施している。ふるさと納税制度を活用して寄付を募集しており、返礼品にはすみだモダンをはじめとした地場産品を寄付者に送付している。				
経過	開始年度	平成27年度	終了予定	未定	
	平成27年度 インターネットによる寄付募集(北斎ふるさと納税)開始 平成28年度 目標寄付金額(5億円)の達成 平成29年度 墨田区文化観光基金への寄付受入開始 令和元年度 複数のふるさと納税サイトでの寄付募集開始(ふるさとチョイス、ふるなび、楽天、さとふる) 令和2年度 ふるさと納税受付サイトを追加(セゾンのふるさと納税、ふるさとプレミアム、auPAYふるさと納税)				
議会質問 の状況	・ふるさと納税による収入を北斎美術館の特定財源であるかのように扱っていることは問題 ・ふるさと納税の返礼品ですみだモダンの商品はどの程度扱われているか				
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和3年度寄付目標額:3億円				

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		130,415	129,441	109,696	200,487	319,890	152,612
A.決算額(令和3年度は見込み)		119,013	129,058	72,685	177,675	300,965	152,612
財源	国						
	都						
	その他	1	1	1	1	1	1
一般財源		119,012	129,057	72,684	177,674	300,964	152,611
執行率(%)		91.3%	99.7%	66.3%	88.6%	94.1%	100.0%
B.人コスト				9,843	8,738	8,822	
総事業決算額(A+B)		119,013	129,058	82,528	186,413	309,787	
主な事業費用の説明		・ふるさと納税サイト事業者への掲載手数料、返礼品の調達経費、寄付決済手数料等					
予算書P(令和3年度)		P118 1-4,5		執行実績報告書P(令和2年度)		P52	

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活動指標)	指 標	寄付キャンペーン寄付金額				単 位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		145,000	R7	目 標	150,000	145,000	200,000	180,000
				実 績	232,102	267,902	155,836	379,921
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	250,000	300,000	145,000	145,000	145,000	145,000	
	実 績	666,577						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	北斎美術館の管理運営、資料収集、展覧会事業等の充実を図るには、継続して寄付を募る必要があるため。目標値については、これまでの実績と管理運営費や資料収集等に要する費用見込みを基に設定。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成果指標)	指 標	すみだ北斎美術館に対する寄付件数				単 位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
3,000		R7	目 標	3,000	3,000	3,000	3,000	
			実 績	3,752	4,222	2,544	5,409	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000		
実 績	8,165							
指標の選定理由及び目標値の理由								
北斎美術館事業を推進していく上では、墨田区内外からの継続した支援(寄付)が必要であることから、目標値については、寄付件数を支援者数と考えて設定。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和2年度は、寄付目標額を大きく上回り、約6.6億円の寄付を募ることができた。引き続き、北斎美術館の管理運営、資料収集、展覧会事業等の充実を図るため寄付募集を実施する必要がある。

課題・問題点
北斎美術館の管理運営や北斎の資料収集等には、毎年度多額の費用が発生するため、それらの財源として、寄付キャンペーンを継続して実施する必要がある。

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる			部内優先順位	
事業名	大江戸すみだ職人展事業				3	
目的	全国でも有数の「ものづくりのまち」として発展を遂げてきた墨田区において、伝統工芸分野における優れた技術・技能を区内外に広くPRし、市場における作品の付加価値を高め、ていくことを目的として展示会を開催する。				主管課・係(担当)	
					文化芸術振興課文化行事担当	
対象者	区民、区への来訪者					
根拠法令 関連計画	大江戸すみだ職人展実行委員会補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤職員 3	
事業内容	<p>実施会場における職人の実演・伝統工芸品の展示のほか、訪れた方の興味を高め理解を深めてもらうため、職人や工芸品・制作品を紹介するパネルの展示、工芸体験を実施している。北斎美術館講座室MARUGEN100及び緑町公園で、大江戸すみだ職人展実行委員会と区が共催。</p> <p>産業振興課、地域教育支援課に「伝統工芸保存会」「パルティール」等への支援事業が行われているため、本事業については、平成30年度から実施場所を北斎美術館に変更したうえでプロモーションを工夫し、リピーターや愛好家、外国人旅行者も含め、より多くの人に職人の技や制作品を目にもらい、関心を持ち評価してもらう事業内容とした。</p>					
経過	開始年度	平成20年度		終了予定		
	<p>「すみだ匠の競演」の拡充事業として、平成20年から開催。平成20年～21年は江戸東京博物館、平成22年～23年はリバーサイドホール、平成24年～29年はすみだまち処、そして平成30年～令和元年は、外国人旅行者も含めさらに多くの方に知っていただくよう北斎美術館講座室で実施した。</p> <p>従来、リバーサイドホールで交互に開催してきた「匠の競演」(区の直接執行事業)と「伝統工芸展」(補助金事業)については、平成20年、来場者増加の観点から、観光課の「ぶらり両国まちかど展」とのタイアップ事業としてリニューアルし、第1回目の「大江戸すみだ職人展」を江戸東京博物館で実施した。</p>					
議会質問 の状況						
その他 特記事項	<p>(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)</p> <p>令和2年度は9月19日～22日を中心に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、大江戸すみだ職人展実行委員会での中止の決定をした。</p> <p>令和3年度は、感染状況を踏まえて大江戸すみだ職人展実行委員会と協議のうえ、開催する予定である。</p>					

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		1,000	950	1,200	1,400	1,400	1,400
A.決算額(令和3年度は見込み)		1,000	950	1,200	1,400	0	1,400
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,000	950	1,200	1,400	0	1,400
執行率(%)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%
B.人コスト				3,937	3,495	2,913	
総事業決算額(A+B)		1,000	950	5,137	4,895	2,913	
主な事業費用の説明		実行委員会への補助金					
予算書P(令和3年度)	P118 1-6		執行実績報告書P(令和2年度)				

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	区内町会へのポスター配布数				単位	枚
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,700	R7	目標	30,000	30,000	30,000	1,700
				実績	31,100	31,100	31,100	1,700
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
	実績	-						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	<p>より多くの方に広く告知することが来場者数の増加につながるため。 令和元年度は、限られた予算の中で効果的なPRを行うべく広報活動の見直しを行った。具体的には、区民への周知については、町会・施設を中心に目に留まるポスターになるよう内容を工夫して開催告知することに注力しつつ、区広報媒体を活用することによって従来よりもコストを抑えるようにした。広報活動の見直しを行ったが、ポスター配布は継続したため、以降の活動指標を区内町会へのポスター配布数に変更した。</p>							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	展示会場への来場者数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
2,500		R7	目標	8,000	8,500	8,500	2,000	
			実績	8,769	6,440	3,802	2,340	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500	
実績	-							
指標の選定理由及び目標値の理由								
<p>展示会場への来場者数が広くPRできたことを示す指標となるため。 平成30年度に開催会場をすみだまち処からすみだ北斎美術館(講座室)へ変更した。従来はまち処全体の来場者数での集計であったが、美術館(講座室)のみの来場者数集計になったことと、開催期間日数の変更に伴い、令和元年度から目標値についても変更した。</p>								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	実施場所やプロモーションを工夫したことで、より多くの方に興味を持っていただくことができ、参加した職人も手ごたえを感じている。来場者と職人の距離が近いことがこの事業の大きな強みであるが、コロナ禍において、この利点を生かすことが困難となるため、魅力を損なわない実施方法の見直しが必要になる。

課題・問題点
<p>職人の技術と作品を紹介する他の事業と差別化を図りながら、実施方法の一層の工夫により、老若男女を問わずより幅広く関心を持っていただくことが課題である。 令和3年度は、コロナ対策を徹底し、安心して見学できるよう職人と来場者との適切な距離を取れるよう、準備を整えたうえで、実施していく必要がある。</p>

補助金名称	大江戸すみだ職人展実行委員会補助金		主管課・係(担当)			
根拠法令	大江戸すみだ職人展実行委員会補助金要綱		文化芸術振興課文化行事担当			
補助概要	大江戸すみだ職人展を実施するにあたり必要となるPR経費や設営費への補助		03-5608-6180			
目的	全国でも有数の「ものづくりのまち」として発展を遂げてきた墨田区において、伝統工芸分野における優れた技術・技能を区内外に広くPRし、市場における作品の付加価値を高めていく。					
対象	大江戸すみだ職人展実行委員会					
基準	区独自基準					
補助条件	<p>大江戸すみだ職人展実行委員会補助金交付要綱</p> <p>第2条 区長は実行委員会が行う次の事業に要する経費を予算の範囲内において補助金として交付する。</p> <p>(1) 大江戸すみだ職人展に関する運営経費</p> <p>(2) 前号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事業の経費</p>					
経過	開始年度	平成20年度	終了予定			
	現在の要綱の適用以前は、「墨田区伝統手工芸作品展示会補助金交付要綱」により、当時の文化振興課と生涯学習課で1年ごとに補助金を支出していた。平成20年度から「大江戸すみだ職人展実行委員会補助金要綱」により補助している。					
議会質問の状況						
その他特記事項	<p>(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)</p> <p>令和2年度は9月19日～22日を中心に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、大江戸すみだ職人展実行委員会でも中止の決定をした。</p> <p>令和3年度は、感染状況を踏まえて大江戸すみだ職人展実行委員会と協議のうえ、開催する予定である。</p>					

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算額(事業費)		1,000	950	1,200	1,400	1,400	1,400
決算額(令和3年度は見込み)		1,000	950	1,200	1,400	0	1,400
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,000	950	1,200	1,400	0	1,400
執行率(%)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	区内町会へのポスター配布数				単位	枚
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1700	R7	目標	30,000	30,000	30,000	1,700
				実績	31,100	31,100	31,100	1,700
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
		実績	-					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	<p>より多くの方に広く告知することが来場者数の増加につながるため。 令和元年度は、限られた予算の中で効果的なPRを行うべく広報活動の見直しを行った。具体的には、区民への周知については、町会・施設を中心に目に留まるポスターになるよう内容を工夫して開催告知をすることに注力しつつ、区広報媒体を活用することによって従来よりもコストを抑えるようにした。広報活動の見直しを行ったが、ポスター配布は継続したので、以降の活動指標を区内町会へのポスター配布数に変更した。</p>							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	展示会場への来場者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2,500	R7	目標	8,000	8,500	8,500	2,000
				実績	8,769	6,440	3,802	2,340
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500
実績		-						
指標の選定理由及び目標値の理由								
<p>展示会場への来場者数が広くPRできたことを示す指標となるため。 平成30年度に開催会場をすみだまち処からすみだ北斎美術館（講座室）へ変更した。従来はまち処全体の来場者数での集計であったが、美術館（講座室）のみの来場者数集計になったことと、開催期間日数の変更に伴い、令和元年度から目標値についても変更した。</p>								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		<p>実施場所やプロモーションを工夫したことで、より多くの方に関心を持っていただくことができ、参加した職人も手ごたえを感じている。来場者と職人の距離が近いことがこの事業の大きな強みであるが、コロナ禍において、この利点を生かすことが困難となるため、魅力を損なわない実施方法の見直しが必要になる。</p>						

課題・問題点	
<p>職人の技術と作品を紹介する他の事業と差別化を図りながら、実施方法の一層の工夫により、老若男女を問わずより幅広く関心を持っていただくことが課題である。</p> <p>令和3年度は、コロナ対策を徹底し、安心して見学できるよう職人と来場者との適切な距離を取れるよう、準備を整えたうえで、実施していく必要がある。</p>	